

今野賢二 けんのけんじ 小説家。明治二十六年八月、二十六年秋田縣生れ、昭和四十四年十月十八日歿（八三—一九六九）。本名賢藏。別名叢雨、小川らくらう、小川洛陽、戴野赤太。職上、活動寫眞辯士等を経く、大正十一年雑誌『種蒔く人』、戦後『文藝戦線』同人。また日本プロレタリア芸術家聯盟、うち労働芸術家聯盟に加盟。

著書「暁」二部作（一）『闇の慰める』大正十二年十一月、二十六年二月、2『薄明のともひ』十四年十月八日、3『光の生まると』昭和二年一月十日新潮社）、『日本小説集・第二集—昭和二年版』（合著・文藝家協會編、昭和二年五月十日新潮社）、『汽笛』（昭和二年四月一日鐵道生活社）、『苦の教養』（昭和十一年十一月、二十四日大東出版社）、『松下村塾』（昭和十五年六月、二十日金星堂）、『高島秋帆』（昭和十一年四月、二十日小學館）『土洪のたけの巻日記』（『佐藤信淵（増補版）』（昭和十七年十一月十日秋田・ニ光堂書店）『秋田偉人物語』（『前田正名』（昭和十八年一月、二十五日新潮社）『上の偉人叢書』（『箱の新品種（箱の創造者）阿部龜治』（昭和十八年十月、二十日日本出版社）『近世日本興業偉人傳』（『開田の光』（昭和十九年八月、二十日新潮社）、『佐藤信淵—偉人伝の先驅者』（昭和二十八年五月、二十五日信友社）『信友文庫・新偉人伝記』（、『疑問』の人物—未来の生きかた佐藤信淵』（昭和二十七年七月一日信友社）『教養実用入門』文庫）、『花屋録』



和二十七年七月一日信友社
友社「教養実用入門」文庫）、『花屋録』

「種蒔く人」今野賢二青春日記』



開田の光
今野賢二著

(佐々木久春遺稿、昭和五十七年十一月)二十五日秋田・無明舎出版)等。

花 塵 録

「種蒔く人」今野賢三春日記
今野賢三著・佐々木久春編



種蒔く人

文学大運動に
ゆれる久春の遺稿

日本プロレタリア文学運動の嚆矢
となった『種蒔く人』——その創刊
に参画した今野が当時を綴った六
冊の日記ノートを再録する。

無明舎出版 定価740円